

終了報告書

2018年9月

Final Report Automechanika Frankfurt

2018年9月11日(火) - 15日(土)
ドイツ・フランクフルト国際見本市会場

海外見本市チーム
Tel. 03-3262-8444
Fax 03-3262-8442
E-mail. info@overseas-fairs.com
東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館 7F
<http://www.jp.messefrankfurt.com/tokyo/ja/>

**第25回の開催に過去最多となる5,000社・団体が出展
前回開催を上回る136,000名が来場**

日本からの出展者は26社、来場者は13%増を記録

今開催のメガトレンドは、デジタル化、クリーンカー、クラシックカー

9月11日(火)から5日間に渡って開催された「アウトメカニカ・フランクフルト」が、9月15日(土)に幕を閉じました。23ホールを使用した出展面積315,000m²の会場に、過去最多となる5,000社を超える企業(2016年:4,843社)が出展し、来場者数は2016年を上回る136,000名/181カ国・地域¹(うち約10,000名は初来場)を記録しました。日本からは26社が出展し、前年比13%増となる約1,000名が来場しています。出展者の82%が目標を達成できたと回答する(2016年:78%)、満足度の高い開催となりました。

メッセフランクフルト取締役のデトレフ・ブラウンは、過去最大規模となった第25回のアウトメカニカ・フランクフルトについて次のように述べています。「来場した皆様から、かつてないほどに未来に重点を置いていた、というフィードバックをいただきました。自動車アフターマーケット(製造業、小売業、整備工場)のすべての分野が、コネクティッド・カー、ネットワーク化された整備工場、クリーンカーなどのメガトレンドに対応しており、世界各国からの来場者へ多様なイノベーションを提案する活気ある場を提供することができました」。

多くの出展者が拡張現実などの未来の車両整備について展示しており、中でもBoschをはじめとする多くの企業が、ワークショップという形で製品やサービスを紹介しました。Robert Bosch GmbHの自動車アフターマーケット部長(President of the Automotive Aftermarket Division)であるManfred Baden氏は、「アウトメカニカは世界中のアフターマーケットにとって最も重要な見本市です」と話し、本見本市を多角評価しています。

¹ 2016年の来場者数は132,944名/169カ国・地域 (FKM (Society for Voluntary Control of Fair and Exhibition Statistics)によりデータ認証)

Final Report Automechanika Frankfurt

来場者の質について、ASA 社長の Frank Beaujean 氏は、「来場者の大部分が商談に向け準備を整えて会期に臨んでおり、会場では有益な商談や情報交換をすることができました。特に注目すべき点として、ドイツ内外から来場する意思決定者の数の多さが挙げられます」と出展の成果についてコメントを寄せています。

今回、完成したばかりのホール 12 で初めて同時開催されたタイヤ専門見本市「REIFEN」では、関連団体によるタイヤ修理に関する専門的な実演が行われました。参加者は「デジタル処理の長所を実際に体験する機会を与えてくれました」と感想を語りました。また、ディーラーや整備工場オーナーを対象に今回初めて実施されたカスタマープログラムの参加者は、「私たちの最大の課題は、タイヤと自動車サービスを組み合わせることであり、これには技術的な変更が伴います。アウトメカニカは、この分野について営業スタッフよりも詳細な知識を持つ専門家に会う機会を与えてくれました」と評価しました。

アウトメカニカ・フランクフルトのディレクターである Olaf Mußhoff は、整備工場のサービスと REIFEN の相乗効果を強調し、多くの整備工場がタイヤと自動車関連サービスの統合と技術変化に対応するという課題に直面している中、今後もタイヤ・整備工場分野への投資を続けていくとの意向を明らかにしています。

部品や整備工場だけでなく、複数の塗料メーカーがバーチャルリアリティを使用した新製品や新たなトレーニングアプリを発表するなど、これまでにない新しい変化が顕著に見られた点が今開催の特徴といえます。一方、デジタルの世界と対照を成すクラシックカー関連全般を集めた展示エリアが印象を残しています。本エリアに出展した部品メーカーや塗料メーカー、新興企業、関連団体の 75% が、非常に満足したと回答しており、クラシックカーエリアの新設について、「メッセフランクフルトは、大きな関心が寄せられているクラシックカーやコレクティブルカー分野へのニーズに適切に応えた」との声が寄せられました。「私たちがまさに望んでいたとおり、世界中の潜在顧客やサプライヤーにリーチすることができました」と Volkswagen Classic Parts のマーケティングディレクター Jörn Schwieger 氏は話しています。

今年、アウトメカニカ・イノベーション・アワードには総計 120 件の応募があり、複数の新しい LED アフターマーケットソリューションが受賞を果たしました。受賞企業の一つである OSRAM のセールスマーケティング担当グローバルヘッド (Global Head of Sales Marketing AM)、Louise Eriksson 氏は次のようにコメ

Final Report Automechanika Frankfurt

ントしています。「アウトメカニカがアフターマーケットの国際的な旗艦見本市として、OSRAM の製品ハイライトやイノベーションを幅広く市場にアピールするための最適なプラットフォームを提供してくれました」。

次回のアウトメカニカ・フランクフルトは2020年9月8日(火)ー12日(土)に開催を予定しています。

プレスリリースおよび2018年開催の写真は以下URLよりダウンロードください:

<https://automechanika.messefrankfurt.com/frankfurt/en/press.html>

見本市の最新情報は以下URLをご確認ください:

<https://automechanika.messefrankfurt.com/frankfurt/en.html>

メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、自社で国際見本市会場を保有し、年間売上高約 6 億 6,900 万ユーロを誇る、世界でも有数の見本市主催会社です。世界中に 30 の拠点をもち、全体で 2,400 人を超える従業員が働くメッセフランクフルトは、グループのネットワークを活かして各国間で連携を取りながら、各地で産業を牽引する見本市を開催しています。見本市運営だけでなく、デジタル事業にも注力しているほか、会場の貸出から、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングまで、多角的に顧客企業のビジネスをサポートしています。メッセフランクフルトは、ドイツ・フランクフルトに本社を置き、同社株の 60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。詳細情報は下記の各会場公式ウェブサイトをご覧ください。

【メッセフランクフルト見本市情報】www.messefrankfurt.com

【カンファレンス会場「コンGRESSセンター」情報】www.congressfrankfurt.de

【100年の歴史を誇るイベント会場「フェスタホール(Festhalle)」情報】www.festhalle.de